広報
農と輝の大地
八幡平

はちまんたい

2007.4.5
No.37

今月の表紙

安代小学校の６年生は３月９日、にぎりずしと巻きずし作りに挑戦しました。出前講座として、安代地区出身のすし職人・伊藤重治さんが指導。卒業を控えた児童たちは、６年間の思い出をすしに込めて作り上げ、みんなで思い出をかみしめました。（関連記事は19ページ）

平成19年度 施政方針演述

■田村正彦市長

平成19年度は、八幡平市の基礎を築く大切な年です。生活基盤の整備、農業や観光、商工業の振興、少子高齢化に対応した福祉や教育の充実など、前向きな取り組みが必要です。行財政改革は、実施段階に入ります。自己決定、自己責任の下、市民に説明責任を果たしながら、自治体の自主性を発揮しつつ、行政運営に努めます。国が進める地方分権と協働によるまちづくりを推進し、公正、誠実な立場で活力ある市政の実現に努め、八幡平市に住んでよかったと思えるまちづくりに、全力を傾注して取り組んでまいります。

私は、常に市民の目線に立ち、先人たちが育て培ってきたこの市を、先祖からの大切な預かり物として考えています。温かい心と思いやりの心を大切に、大きく育てあげ、自然と人、人と人とが生き生きと輝く「人と環境にやさしいまち八幡平市」の実現に向けて、議会との連携・協調を図りながら、積極的にまちづくりを推進してまいります。以下、主な施策の概要について申し上げます。

自然と共生する、快適な住環境のまちづくり

公共工事のコスト削減　適切な設計単価や計画的な工事発注の推進、省資源や環境保全など総合的なコスト縮減対策を図るための、新たな基準となる行動計画を作成します。

入札制度は、全国的なシステム見直しの流れを受け、本市も制度の研究を進めます。

国道282号西根バイパス　第1期工区は、20年春までの暫定開通に向けて工事が進められています。一般県道岩手大更線から市立図書館前までの接続道路舗装、市役所東側国道282号の右折レーンの延長整備を予定しています。

第2期工区は、19年度に一部区間の詳細測量設計が行われる予定です。整備促進協議会や関係機関との連携を図りながら県と交渉を進め、早期全線開通に向けて要望します。

市道　道路整備は7路線の改良工事を継続します。新規事業として市道岩屋岩木線、柏台1号線の改良工事、北切上沖線の局部改良工事を行います。その他の路線は、緊急度や利用状況を踏まえながら軽舗装工事などを実施します。

本年度、県から柏台松尾線、田代平西根線など6路線の道路管理の権限移譲を受け、市道と一体的に管理を行います。

公共下水道事業　西根処理区大更分区の管渠整備は順調に推移しており、新たに平舘分区の管渠整備に着手します。安代処理区は、3月から水洗化を開始しています。

農業集落排水事業　平舘・寺田南、北寄木、田頭・平笠の3地区は、引き続き管路整備に取り組みます。平舘・寺田南地区は、6カ年事業の最終年度となります。利用開始済みの7処理施設、松尾地域の集合浄化槽の4施設は、接続率の向上に努め、適切な維持管理に努めます。

浄化槽事業　公共下水道事業と農業集落排水事業を除いた区域を対象に、市が設置・管理を行う方式で、浄化槽整備事業に取り組みます。

水道事業　水を安定供給するため、水源施設の改築や配水管拡張事業、老朽管更新事業を実施します。道路改良工事や下水道工事に伴う布設替工事にも適正に対応します。水道への加入促進を図るとともに、料金の統一化を含め、健全経営に努めます。

市営住宅　築30年以上の市営住宅が20バーあり、住宅整備も含め、総合的な住宅政策の検討が必要です。市営曲田住宅の水洗化を2カ年で計画し、本年度は配水管布設と合併浄化槽を設置します。市営住宅への火災報知器の設置や柏台第2コミュニティー住宅の外部改修を行います。

木造住宅の地震に対する安全性の確保のため、一般住宅15戸の耐震診断を実施します。

除雪　市民の日常生活に支障をきたさないよう、冬期間の交通、生活機能を確保するため、市道、歩道を合わせて640キロを効率的に除雪します。

今後も、適正な除雪計画を策定し、市民の交通、生活機能の確保に努めます。

環境衛生　循環型社会形成地域計画を基に、ごみの減量化と資源ごみのリサイクルを推進し、資源ごみ回収団体への奨励金の支援や、公衆衛生活動に対する援助を行い、市民の環境に対する意識の高揚を図ります。最終処分場は、埋め立て満了時期を迎えるため、新たな処分場整備に向けて取り組みます。

し尿処理　盛岡北部4市町で構成する盛岡北部行政事務組合で共同処理を行い、生活環境の保全に努めます。

清掃業務・斎場　管理・運営は多様化するニーズに対応した快適な生活を支援するため、適正な施設運営を行い、環境衛生の充実を図ります。

公共交通　患者輸送車を有料化し、コミュニティーバスの試験運行に向けて、公共交通会議を立ち上げて検討します。廃止代替バスの運行の在り方と、予約運行によるデマンド交通の導入について検討します。交通機関利用者の通学定期購入費に対して、引き続き助成します。

交通、防犯対策　交通事故被害者は、高齢者に集中しており、高齢者に対する交通安全を重点的に推進します。

交流人口が増加する中、犯罪を未然に防止するため、警察や関係機関と連携を密にし、地域、学校を含めて市民総ぐるみで犯罪防止に努めます。

消防、防災対策　消防署と消防団による防火体制を構築します。消防団の統一に向け、団再編の検討委員会を立ち上げます。防災計画を基に関係機関や消防団と連携を図り、安全・安心なまちづくりを推進します。新たに、安代防災センターを建設します。

連携によって築く、躍進する産業のまちづくり

農業　本年度から品目横断的経営安定対策、米政策改革推進対策、農地・水・環境保全向上対策が導入されます。

このような、国の重要な政策転換に速やかに対応するため、昨年、市農業振興支援センターを発足し、八幡平農業改良普及センターや盛岡地方振興局農政部との連携で、地域営農の推進を図ってきたところです。さらに内部強化を図り、集落営農組織の組織化に向けて重点的に取り組みます。

米　食の多様化の時代にあって市場や消費者からは、良食味米が求められています。品種などの改善や適性管理に向けて取り組みます。

園芸作物　水田農業の再編で地域振興作物の定着が必要です。ホウレンソウやキャベ

【次ページへ続く】

ツ、アスパラガスなどの面積拡大や生産振興を図るため、産地作り交付金を活用しながら対応します。

花き リンドウは日本一の生産量を誇り、海外輸出も4年目を迎えます。長期安定出荷の確立や所得拡大に向け、関係機関、生産者が連携を図り、生産振興に取り組みます。新たな品種開発を図るため、雪冷房リンドウ培養育苗生産施設整備事業を導入します。

畜産振興 生産者の高齢化などで上場頭数の減少傾向が見られ、後継者対策とともに、経営規模拡大に取り組みます。

林業振興 森林は水資源や環境保全における多面的要素があります。引き続き、林道の整備と森林整備の支援を行うとともに、特用林産物の振興と適正な森林管理を行います。

生乳、ブロイラー 安全・安心な生産物の供給基地として、生産振興を図ります。

地産地消 地元の食材を市内で消費拡大するため、産直組合や宿泊施設への地元農産物を供給するシステムを、昨年構築しました。観光施設や観光協会と連携を図りながら、市場への出荷と併せて推進します。道の駅にしねの生産物直売所が狭いため、販売コーナーを増床し、地元生産物の販売拡大を図ります。

農村整備 県営工事の浅沢地区中山間地域総合整備事業は、工事を継続します。特定中山間保全整備・馬渕川上流地域の基本調査は、需要量の調査に入ります。

観光振興 岩手山、八幡平、安比高原、七時雨山などの観光資源を効果的に全国に発信して、知名度を向上させ観光客の誘客を図ります。観光と農業などの他産業を結び付けた、健康・癒やし型滞在観光推進事業を引き続き推進し、交流人口の拡大を目指します。市観光協会との連携を図りながら、観光客の増加に努めます。19年度は、岩手県産業まつりを誘致する予定です。市の産業まつりと連携し、盛大に開催できるよう検討しているところです。

商業振興 市商工会が実施する経営改善事業、振興対策事業などに補助金を交付します。商工団体が行う商店街活性化事業に支援を行い、対象範囲を市内全域に拡大します。中小企業振興資金融資制度の融資枠を、19年度も引き続き6億円に拡大し、中小企業の育成、支援を図ります。

企業誘致 ここ1年の進出状況は1社のみで、依然として厳しい状況です。市内の企業と取引のある企業を対象に、工業団地の紹介やアンケート調査を実施し、少しでも立地意向がある企業を訪問し、誘致活動を展開します。

起業家支援 貸工場への入居支援を推進し、相談支援を行います。既存の立地企業には、企業立地促進事業補助金や税制上の優遇措置、融資制度の情報提供を行い、新たな設備投資を誘導し、就労の場の確保に努めます。

第三セクター 赤字解消へ引き続き努力します。一部の施設は、第三者への譲渡を行い、経営安定化を図る計画です。各施設の設立目的や必要性を洗い直し、情報を公開しながら、民間譲渡、完全民営化、出資の引き揚げ、統合などについて、引き続き検討します。

健やかな、創造性あふれる人材のまちづくり

市民の健康 市民が健康を維持できるよう検診事業、生活習慣病予防事業、母子保健事業、予防接種事業など関係機関と連携を図りながら実施し、健康づくりを推進します。

乳幼児医療費助成 所得制限が撤廃され、出産費が軽減されます。地域医療の在り方についても検討します。

医療制度改革 県内全域を対象に後期高齢者医療広域連合が設立され、後期高齢者の医療が共同処理できるよう整備されます。国保保険者に義務付けられている特定検診などの実施計画書を策定します。

子育て支援対策 出産や子育てに関する負担を軽減します。東大更に学童保育クラブを設置します。保育所では延長保育、一時保育、乳児保育などを充実します。大更地区に開所した「たからっこ広場」は、19年度から週5日の開設を目指し、ボランティアの協力を得ながら運営します。

児童虐待防止 学校や関係者で実務者会議を毎月開催します。早期発見、早期対応のため、県福祉総合相談センターと連携し、子育て支援体制を構築します。子どもを一時的に保護する子育て支援短期事業も導入します。

障害者福祉 18年に障害者自立支援法が施行され、障害者がさまざまなサービスを利用できるようになり、地域の中で安心して暮らしていける対策を推進します。自立支援のため、日常生活用具給付や住宅改修事業を引き続き実施します。就労希望者の相談支援事業も進めます。すべての市民が自立した生活を営むことができるよう地域福祉計画を策定します。

高齢者福祉 できるだけ介護や支援を必要とせずに生活できるよう、介護予防事業の強化と地域包括支援センターの充実を図ります。引き続き市内の温泉を利用した高齢者向け健康教室を開催し、高齢者の健康増進に取り組みます。

認知症高齢者が、介護や機能訓練を日帰りで受けられる認知症対応型通所介護施設を、松尾地区に整備する計画です。

西根病院、安代・田山診療所 医師の地域偏在が恒常化し、医師確保には大きな課題を残しています。引き続き関係機関、岩手医科大学に対して派遣要請を行います。

西根病院は、地域の医療確保と経営の健全化に向けた今後の在り方を検討するため、検討委員会を立ち上げます。

学校教育 児童生徒が心豊かに成長できる教育を目指し、学力向上を念頭に置いた学力調査に基づく的確な学力の把握や、教職員の指導力を向上するため、各種研修への積極的な参加を進めます。

障害のある児童への支援、児童生徒の悩み相談、不登校児童生徒の学校への復帰支援、複式学級がある小規模校の児童生徒の適正な学習環境をつくるため、学校の適正配置について検討します。

子どもを巻き込んだ事件・事故、いじめや自殺などについて、教育環境整備と併せて安全確保にも努めます。

雨漏りなどの修理が必要な寄木小学校、寺田小学校の調査設計や塗装工事を行い、教育環境の整備を図ります。

学校給食 西根地区学校給食センターの調理部門を民間へ業務委託し、経費節減を図るとともに、給食センターの統合に向けて取り組みます。

生涯学習・社会教育の振興 社会教育施設や公共施設を活用し、市民が企画・運営などに参画できるよう、資料の収集や施設の整備を図ります。学習意欲を喚起し、学習活動の支援など生涯学習の普及奨励に努めます。

社会教育の振興 家庭教育支援や教育振興運動を通じて、地域教育の充実と社会教育団体の育成指導に努めます。

大更地区コミュニティーセンターは、19年度に設計業務を実施し、20年度の建設に向けて、具体的に取り組みます。

学習院八幡平松尾校舎跡地は、同校との協議に基づき記念公園を整備します。

スポーツ振興 市体育協会と連携を図りながら、各種体育大会などを開催し、市民が誰でも参加し、楽しむことができる環境づくりに努めます。

芸術・文化 芸術・文化を市民が主体となって継承するため、地域芸能祭りなどを奨励し、多様な芸術文化活動の環境づくりや歴史的文化遺産の保護、収集に努めます。

行財政の効率化 事務事業・組織機能を定期的に見直し、職員数や職員の資質向上など職員管理の適正化に努めます。自主財源の確保や有利な財政措置の活用に努め、健全な財政運営のため限られた予算の効果的、重点的な運用に努めます。

協働社会の構築 地域自治組織が、地域の特性を生かして自ら行う地域づくり活動に対し、協働によるまちづくり補助金制度により支援します。

行財政改革 健全財政を維持するため、行財政改革実施計画（集中改革プラン）の着実な実行と進行状況管理は不可欠です。市民や関係団体などに情報公開し、対話を深めながら、行政サービスの著しい低下を招かないよう取り組みます。

複雑多様化する行政事務の効率的推進と、新たな行政需要に対応するため、事務組織の見直しを進めるとともに、行政事務事業評価システムの導入に努めます。

新エネルギー対策 市内にある資源エネルギーの活用策を検討するため、地域新エネルギービジョンの策定を進めます。八幡平御在所温泉地域の地熱開発調査を進め、発電事業化の検討を続けます。

新庁舎建設 合併協議の根幹をなしたものであり、総合計画前期基本計画でも新市発展の拠点施設と位置付けています。整備を前提に、庁内の関係部課長で構成する調査委員会の発足と、市内の公共的機関・団体の代表者、有識者などで構成する検討委員会を立ち上げ、調査・検討を行い、その内容は随時公開します。

総合計画前期基本計画 18年度からの5カ年計画です。実質初年度となる19年度は、基本計画に基づき、キャッチフレーズ「農（みのり）と輝（かがや）の大地」の創造に向けて、市の特性でもある農業と観光を中心とした、活力ある産業や住みよいまちづくりを推進します。

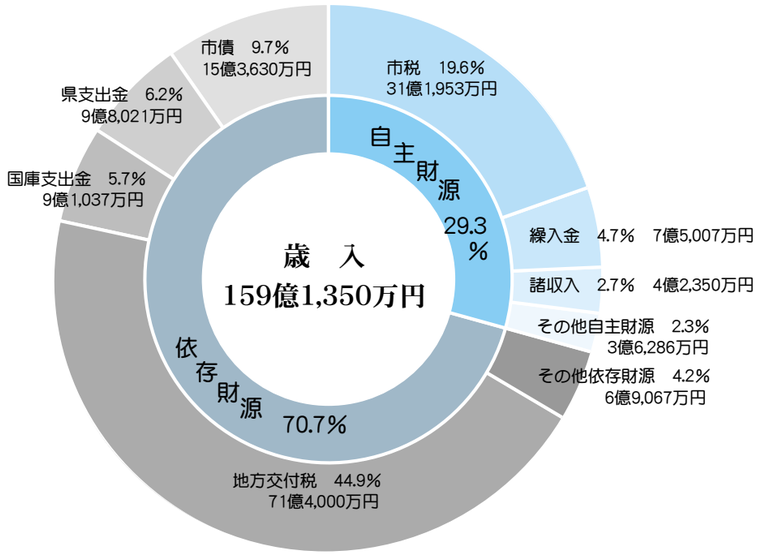
予算

八幡平市躍進元年

19年度一般会計159億1千万円 前年度当初予算に比べ4.3パーセントの増加

19年度は「八幡平市躍進元年」と位置付け、市総合計画前期基本計画の具現化に向けた取り組みなどに、一般会計で約159億1千万円を編成しました。ここでは、一般会計を中心に当初予算のあらましを紹介します。（金額は1万円未満、構成比は小数点第2位を四捨五入しています）

【グラフ1】 一般会計：歳入の内訳



歳入

市民1人当たりが納める市税は？？

10万円

税源移譲で市税3億円増 自主財源比率は29・3パーセント

市の予算は一般会計と7つの特別会計、2つの企業会計で構成されています。

一般会計の総額は、159億1350万円で、前年度比4.3パーセント、6億5130万円増加しました（グラフ1参照）。一般会計歳入で、最も多いのが地方交付税の71億4000万円です。このうち、普通地方交付税は67億4000万円で、前年度比2億2800万円の増額となりました。

次いで多い市税は、前年度より3億700万円の増額となりました。これは主に所得税から市民税への税源移譲で増加し、それに伴い所得譲与税が廃止されたものです。以下、市の借金に当たる市債が9.7パーセント、県支出金6.2パーセント、国庫支出金5.7パーセントの順になっています。

歳入は、自主財源と依存財源に大きく分けられます。市独自の財源である自主財源の総額は46億5596万円で、前年度よりも6億5070万円増えました。比率が大きいほど財政運営の自主性や安定性が高いことを示す「自主財源比率」は29・3パーセントで、前年度より3.1ポイント増加しています。

［解説］ 財政用語

【自主財源】 市税や繰入金など、市が独自に調達できるお金

【依存財源】 地方交付税や国庫支出金など、国や県から交付されるお金

【市税】 皆さんに納めてもらう市民税、固定資産税など

【繰入金】 一般会計、特別会計、基金の間で相互に資金運用するお金

【地方交付税】 市町村の財政力に応じて国から交付されるお金

【市債】 市が事業を行うために借りるお金

【総務費】 一般事務経費や積立金などに使われるお金

【民生費】 高齢者福祉、児童福祉、障害者福祉などの充実に使われるお金

【教育費】 小・中学校、幼稚園など教育の充実に使われるお金

【公債費】 市債を返済するためのお金

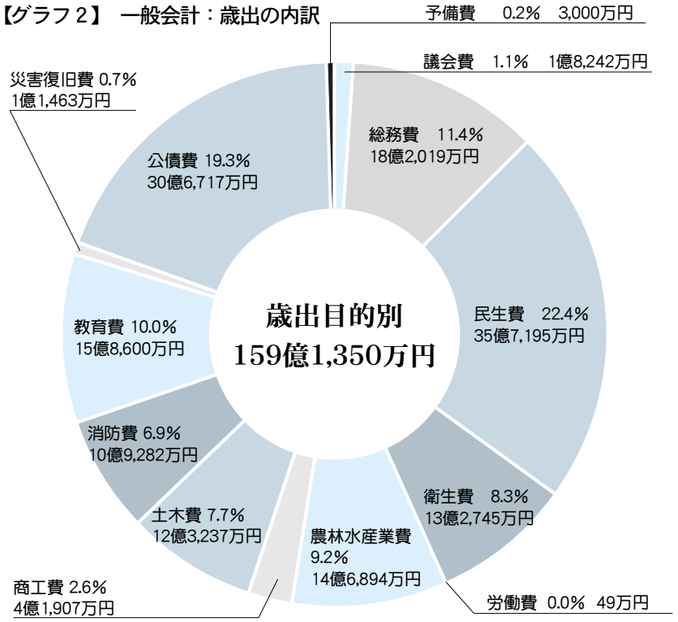
【義務的経費】 支出が義務付けられている人件費、扶助費、公債費の経費

【投資的経費】 施設の建設など将来残るものに支出する経費

【表1】 一般会計：歳出性質別内訳

人件費	32億　591万円	20.1%
扶助費	11億9,989万円	7.5%
公債費	30億6,717万円	19.3%
義務的経費	74億7,297万円	47.0%
物件費	26億5,375万円	16.7%
維持補修費	3億8,647万円	2.4%
補助費等	20億7,384万円	13.0%
積立金	1億2,899万円	0.8%
投資及び出資金	2,763万円	0.2%
貸付金	8,000万円	0.5%
繰出金	11億7,732万円	7.4%
予備費	3,000万円	0.2%
その他経費	65億5,799万円	41.2%
普通建設事業費	17億6,791万円	11.1%
災害復旧事業費	1億1,463万円	0.7%
投資的経費	18億8,254万円	11.8%

【グラフ2】 一般会計：歳出の内訳



歳出

市民1人当たりに使われるお金は？

51万円

総合計画前期基本計画の具現化へ向け予算を編成

市総合計画前期基本計画の具現化に向けた取り組みが始まる19年度の歳出は、農林水産業費や消防費が前年度に比べ高い伸び率となりました。

本年度、農業関係では、雪冷房りんどう培養育苗生産施設整備や生産物直売所増改築工事、消防関係では安代防災センターの新築などが予定されてます。

市の借金を返済する公債費は30億6717万円（グラフ2参照）、歳出の19・3パーセントを占め、本年度約11億円の地方債残高の減少を予定し、将来に向けて軽減に努めています。

歳出を賄う財源として、不足する6億600万円は、財政調整基金から4億1600万円、減債基金から1億9000万円を繰り入れました。非常に厳しい財政状況（かの）での運営ですが、「農と輝（かがや）の大地」の実現に向け、長期展望に立った財政運営を図ります。

【表2】19年度特別会計の予算額

会　計　名			予算額
国民健康保険・事業勘定			33億1, 572万円
老人保健			31億4, 325万円
公共下水道事業			8億2, 570万円
農業集落排水事業			11億1, 644万円
浄化槽事業			8, 239万円
国民健康保険・診療施設			2億6, 813万円
索道事業			4, 579万円
西根病院事業	収益的	収　入	7億2, 801万円
		支　出	7億2, 801万円
	資本的	収　入	2, 579万円
		支　出	3, 406万円
水道事業	収益的	収　入	5億3, 243万円
		支　出	4億9, 655万円
	資本的	収　入	9, 927万円
		支　出	3億7, 452万円

19年度の主な事業

放課後児童健全育成事業	4,345万円
後期高齢者医療システム構築	4,163万円
いわて農業担い手支援総合対策事業費補助金	5,869万円
安代防災センター整備	2億7,526万円
雪冷房りんどう培養育苗生産施設整備	1億8,404万円
一般廃棄物最終処分場整備	8,619万円
生産物直売所増改築	8,000万円
松尾地区体育館大規模改修	5,834万円

気になる 市の財政状況

八幡平市が誕生して１年半が経過しました。平成19年度に市のまちづくりに使われる一般会計の当初予算額は159億１千万円。７つの特別会計と合わせると247億１千万円になります。ここでは、市民の皆さんが気になっている、市の財政状況について、一緒に勉強しましょう。

地方交付税ってなに

地方交付税は、財政力の弱い自治体(県や市町村)の収入の中では、最も大きな割合を占めている必要不可欠なお金です。国民はどこに住んでいても、そこの財政状況がどうあろうとも、一定の行政サービスを受ける権利があるという前提があります。地域によって、財政的に裕福な自治体もあれば、苦しいところもあります。この財政状況の不均衡を調整し、全国どこでも標準的な行政運営ができるような財源の保障をするために、国が集めた税金(国税)の一部を、地方自治体に配分する制度が地方交付税です。

国が地方に配分する地方交付税の総額は、国税5税の一定割合で保障されています。国がこの原資(一定割合の額)をもとに、財政力の弱い地方自治体に配分します。

自治体に配分する普通交付税は、基準財政収入額が基準財政需要額を下回る分(財源不足額)を基準額として行われます。基準財政需要額では、市町村の規模、過疎化や高齢化の程度、積雪寒冷地かどうかなどを需要額に色濃く反映させるため、測定単位の数値を増やしたり、減らしたりするなど補正を行っています。

基準財政収入額は、標準的な税収入額および交付金の75パーセントです(地方譲与税と一部の交付金は100パーセント)。税の収納率が100パーセントの場合、25パーセント分は市町村のゆとり財源となります。

[基準財政需要額]
測定単位当たりの費用×測定単位×補正係数

財政状況好転の兆し

表１の左側は、一般財源(使い道が決められていない収入)のうちの主な収入である地方税などの推移です。19年度は、地方税が一番多かった９年度より３億８８６１万円、地方交付税が一番多かった12年度より14億８９２１万円減り、合計額では一番多かった12年度より12億８３８７万円減る見込みです。地方交付税を中心として、歳入が大幅に減ってきた状況が分かります。

表１の右側は、各年度末現在の市債、企業債の借入残高(元金)の推移です。総額は15年度まで増え続けてきましたが、普通建設事業の抑制によって16年度からは減少に転じ、19年度末には一番多かった15年度末より13億２４１０万円減る見込みです。借入残高が減ってきましたので、財政状況は好転の兆しが見えています。

[表１] 地方税などの収入額と市債・企業債残高

年度	地方税等の収入額	市債・企業債残高
9	121億9,017万円	257億6,523万円
10	121億4,232万円	288億2,269万円
11	122億8,165万円	313億8,822万円
12	123億4,869万円	331億2,671万円
13	122億6,207万円	338億1,485万円
14	118億8,564万円	348億5,654万円
15	117億1,120万円	365億1,684万円
16	111億4,597万円	363億3,475万円
17	113億1,256万円	361億9,330万円
18	112億8,170万円	360億　94万円
19	110億6,482万円	351億9,274万円

※地方税など：地方税、地方譲与税、地方交付税、減税補てん債、臨時財政対策債
※19年度は見込み額

用語解説

＊1 国税5税　地方交付税の原資となる所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税のこと。原資はこの5税から一定割合で保障される。

＊2 基準財政収入額　地方自治体の財政力を合理的に算定するためもので、標準的な状態で徴収しうる税収などを一定の方法によって算出した額。実際の収入額ではない。

＊3 基準財政需要額　各自治体が標準的な行政を合理的水準で実施したと考えたときに必要と想定される額。実際にかかる経費ではない。財政需要額とはいうが経費の全体を指すものではなく、行政経費に充てられる財源のうち、国庫補助金や使用料など特定財源(使い道が決まっている財源)を除いた必要一般財源の額が基準財政需要額。

＊4 測定単位　各自治体の基準財政需要額の計算に用いるもの。人口、面積、道路の延長・面積、学校数、学級数、児童・生徒数、公立保育所入所者数、高齢者数、介護サービス受給者数など数多くあり、測定単位ごとにその単価(費用)が決められている。

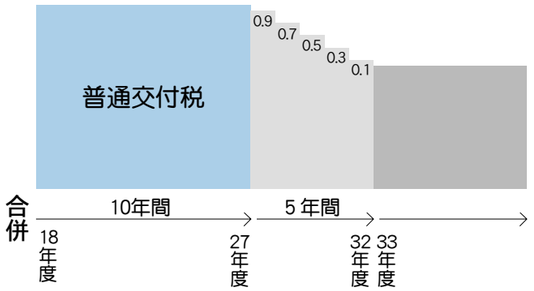
これからの財政運営

合併をすれば行政経費が減りますので、基準財政需要額も減ります。本来であれば、地方交付税は合併をすれば減ることになりますが、需要額を合併前の旧町村ごとに個別に計算して、その合計額を需要額にする「合併算定替」が、10年間行われます(図１参照)。その後は５年かけて、個別計算したものの合算値から市全体を一本で算定した数値へと、段階的に減っていきます。

17年度に合併した本市の場合は、18年度から27年度までは旧町村ごとに計算した額の合計値が需要額となり、28年度から32年度まで段階的に一本算定したものとの差額分が減らされていき、33年度からは算定替がなくなります。27年度までに長期安定的な財政基盤を確立しておかなければ、28年度以降は非常に厳しい状況が待っています。

昨年12月、市は行財政改革実施計画(集中改革プラン)を策定しました。この計画には、足腰の強い財政基盤を確立するための、具体的な取り組み方針を掲げています。この計画に基づいて事務事業を抜本的に見直し、経常経費の一層の節減を図ります。さらに、投資的事業を厳選するなど、徹底した歳出の抑制に努めることによって、歳入に見合った歳出規模とし、次世代への負担を軽くするため、可能な限り起債(市の借金)に頼らない財政運営に努めます。

[図１] 合併算定替のイメージ

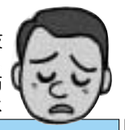


家計 年収400万円のに例えると

市の19年度一般会計当初予算の状況を年収400万円のAさんの家計に例えると、次のようになります。

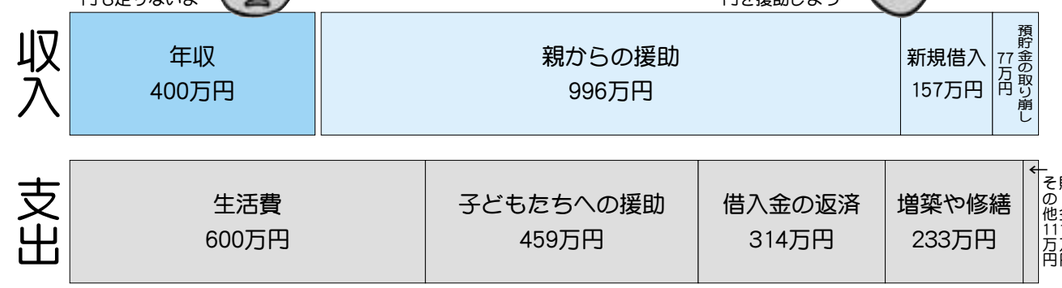
支出は、収入の４倍の1630万円です。内訳は、生活費(人件費、物件費)に600万円、独立している子どもたちへの援助(扶助費、補助費、繰出金、投資及び出資金)が459万円。借入金の返済(公債費)に314万円、家の増築や修繕(普通建設事業費、維持補修費、災害復旧事業費)に233万円、貯金(積立金)に13万円、その他(貸付金、予備費)が11万円になります。

自主財源である市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金、諸収入の合計46億5,596万円のうち、繰入金7億5,007万円を除いた39億589万円を年収400万円に置き換えて、支出をおおまかに振り分けて説明します。



Aさん(市)：支出は1,630万円。収入が1,230万円も足りないよ

Aさんの親(国・県)：収入が足りないなら996万円を援助しよう



収入が1230万円も足りません。やり繰りは次のとおりです。親からの援助(地方交付税、地方譲与税、国・県支出金、各種交付金)が996万円、新規の借入(市債)が157万円、預貯金の取り崩し(繰入金)が77万円と、ほとんどを親(国、県)に頼っています。

借入金の残高(元金)は、支出を抑えて減らしてきた結果、17年度で2220万円、18年度で2140万円、19年度で2027万円と、除々に減ってきてはいます。しかし、別に生活している兄弟９人(７つの特別会計、２つの企業会計)のうち、６人に借入金があり、元金の残高合計は1576万円になっています。

一方、Aさんの預貯金(財政調整基金、減債基金、特定目的基金)の残高は293万円で、借入金残高を考えると、かなり寂しい状況です。親からは、今後ますます援助を減らしていくことを宣告されていますので、Aさんは、ますます支出を抑える必要があります。

市職員の人事配置（4月1日付）

［ **太字**は異動者・新採用、色字は昇任 ］

	所属課など	職　名	氏　名
企画総務部	部長兼西根総合支所長		小野寺　光　正
	総務課	課長	**藤　田　繁　光**
		課長補佐	**工　藤　孝　栄**
		行政係長	香　川　　豊
		主任	佐々木　宣　明
		主任	高　橋　　誠
		主事	**伊　藤　健　児**
		主事	鈴　木　　瞳
		自動車整備管理者兼主任自動車運転手兼主任作業員	**伊　藤　正　行**
		広報統計係長	工　藤　久　志
		主任	及　川　隆　二
		主事	伊　藤　　緑
		主事	中軽米　真　人
		地域安全係長	**阿　部　正　昭**
		主任	**高　橋　繁　範**
		主事	工　藤　誉　和
		主事	**遠　藤　佑　輔**
	総合政策課	課長	**岡　田　　久**
		政策調整係長	小山田　克　則
		主事	畠　山　健　一
		主事	坂　本　　譲
		情報電算係長	**黒　沢　博　範**
		主査	遠　藤　福　子
		課長補佐兼行政経営係長	小野寺　　浩
		主任	多　田　和　雄
		課長補佐兼新市建設係長	高　橋　正　明
		主任	佐　藤　憲　一
	財政課	課長	佐々木　正　志
		副主幹	**中軽米　　悟**
		財政係長	松　村　錦　一
		主任	佐々木　善　勝
		主任	関　　貴　之
		主任	福　士　勝　章
		課長補佐兼管財係長	山　本　正　信
		主査	高　橋　康　幸
		主任	斎　藤　啓　志
		契約係長	渡　辺　　信
		主事	中軽米　　健
	税務課	課長	松　浦　重　夫
		課長補佐	**鈴　木　伸　也**
		課長補佐兼市民税係長	種　市　光　則
		主任	佐々木　聡　子
		主事	三　浦　裕　子
		主事	多　賀　理　拡
		主事補	柳　沢　大　輔
		資産税係長	遠　藤　幸　宏
		主査	**三浦　るみ子**
		主事	伊　藤　信　幸
		主事	高　橋　洋　子
		主事	沼　田　　崇
		主事補（新採用）	**佐　藤　麻季子**
	収納課	課長	**高　橋　　初**
		課長補佐	**北　舘　修　吾**
		収納第一係長	**遠　藤　竹　弥**
		主事	**佐々木　　忍**

	所属課など	職　名	氏　名
	収納課	副主幹兼収納第二係長	**乙　部　　勉**
		主任	**高　橋　　潤**
		主事	**遠　藤　　桂**
		主事	**舘　柳　竜　一**
生活福祉部	部長兼福祉事務所長		**大　森　力　男**
	市民課	課長兼清掃センター所長兼斎場長	**遠　藤　栄　太**
		課長補佐	**大　森　光　洋**
		戸籍係長	**佐　藤　文　城**
		主事	**佐々木　洋　美**
		主事	**関　口　清　行**
		住民係長	**葛　西　美羽子**
		主事	**高　橋　美　穂**
		主事	**白　崎　　藍**
		課長補佐兼環境保全係長	**佐々木　美保子**
		主査	**高　橋　琢　紀**
		主事補（新採用）	**阿　部　正　陽**
		副主幹兼廃棄物係長	**高　橋　桂　子**
		主事	**畠　山　　拓**
	清掃センター	所長補佐兼斎場長補佐	高　橋　肇　悦
		係長	米　田　直　光
		主査	古　川　弥　忍
		主事	工　藤　晴　彦
		主任作業員	**工　藤　雅　美**
		作業員	北　口　建　人
	保健課	課長	**森　　佐　一**
		課長補佐	**村　上　輝　身**
		国保年金係長	**佐々木　孝　弘**
		主査	**村　井　伸　地**
		主任	**佐々木　由理香**
		主事	**藤　原　広　美**
		主事	**畑　　肇**
		主事	**泉　山　竜　一**
		主事	**高　橋　美　穂**
		保健係長	**藤　田　浜　子**
		主任栄養士	**藤　原　厚　子**
		主任栄養士	**高　村　せつ子**
		主任栄養士	**田　村　直　子**
		主任保健師	**松　村　たづ子**
		主任保健師	**高　橋　悦　子**
		保健師	**小　林　恵　美**
		保健師	**山　本　静　子**
		保健師	**渡　辺　夕　夏**
		保健師	**北　條　恵　美**
		主事	**関　　宏　典**
		課付（後期高齢者医療広域連合派遣）	**藤　森　　恵**
	地域福祉課	課長	佐々木　幸　雄
		課長補佐	**工　藤　明　男**
		副主幹兼福祉総務係長	遠　藤　富喜子
		主任	**工　藤　　亘**
		生活保護係長	**工　藤　紀　之**
		主任社会福祉主事	**本　堂　清　寿**
		主事	西　田　光　吉
		主事	**土　村　　岳**
		課長補佐兼障害福祉係長	藤　村　裕　子
		主事	高　橋　百合子

➡10ページへ続きます

［ **太字**は異動者・新採用、色字は昇任 ］

	所属課など	職　名	氏　名
生活福祉部	地域福祉課	主事	**小　綿　　隆**
		主事	田　村　　大
		主事	山　本　和　範
		課長補佐（八幡平市社会福祉協議会派遣）	佐々木　育　子
		課付（盛岡地方振興局派遣）	**遠　藤　　悟**
	児童福祉課	課長	**高　橋　敏　彦**
		児童福祉係長	佐　藤　由　子
		主任栄養士	**田　村　順　子**
		主任	工　藤　能　久
		主事	田　村　麻　衣
		課長補佐兼子育て支援係長	**小野寺　陽　子**
		主事	高　橋　武　士
	大更保育所	所長	工　藤　克　子
		副所長兼主任保育士	松　浦　　操
		主任保育士	工　藤　順　子
		主任保育士	畠　山　ひろみ
		主任保育士	高　橋　佳　代
		保育士	高　橋　幸　子
		主任調理員兼主任用務員	高　橋　シゲ子
		主任調理員兼主任用務員	中　村　久美子
	平舘保育所	所長	佐　藤　由利江
		副所長兼主任保育士	滝　沢　ミツエ
		副所長兼主任保育士	工　藤　潤　子
		主任保育士	佐　藤　ひと美
		主任保育士	山　口　　静
		主任保育士	村　田　律　子
		主任調理員兼主任用務員	**本　堂　由紀子**
	寺田保育所	所長	**工　藤　園　子**
		副所長兼主任保育士	森　　寛　子
		主任保育士	藤　井　聡　子
		保育士	遠　藤　美　咲
		調理員兼用務員	田　村　真　紀
	東大更児童館	館長兼主任児童厚生員	斎　藤　かつ子
	松野保育所	所長	立　柳　陽　子
		主任保育士	鳥　居　和　枝
		主任保育士	古　川　千恵子
		保育士	村　井　幸　恵
		保育士	立　柳　明日香
		調理員兼用務員	松　尾　弘　樹
	寄木保育所	所長	石羽根　優　子
		副所長兼主任保育士	畠　山　礼　子
		主任保育士	工　藤　節　子
		保育士	高　橋　千　春
		調理員兼用務員	田　村　智　子
	柏台保育所	所長	小野寺　恵　子
		副所長兼主任保育士	伊　藤　みよ子
		主任保育士	畠　山　卓　子
		保育士	鎌　田　真由美
		調理員兼用務員	田　口　志保子
	あしろ保育所	所長	上　森　富　子
		副所長兼主任保育士	山　本　晶　子
		副所長兼主任保育士	武　藤　優　子
		主任保育士	大　森　玲　子
		主任保育士	滝　沢　登美子
		主任保育士	鈴　木　文　香
		主任調理員兼主任用務員	畠　山　光　子
		調理員兼用務員	安　保　美由樹
	あしろ保育所畑分園	分園長	三　浦　睦　子
		保育士	斎　藤　恵理子

	所属課など	職　名	氏　名
生活福祉部	田山保育所	所長	畠　山　桂　子
		副所長兼主任保育士	杉　本　るみ子
		副所長兼主任保育士	金　沢　美恵子
		主任保育士	関　　悦　子
		調理員兼用務員	北　舘　史　恵
	長寿社会課	課長兼地域包括支援センター所長	小山田　重　郎
		課長補佐（西根老人憩の家）	宮　崎　敏　彦
		課長補佐兼地域包括支援センター所長補佐	立　花　安　文
		高齢福祉係長	田　村　泰　彦
		主事	田　村　修　一
		主事	**北　舘　有　輝**
		包括支援センター係長	**高　橋　公　子**
		主任保健師	松　尾　淳　子
		主任保健師	工　藤　千　歳
		主事	工　藤　沙　織
		主事	種　市　歌南子
		課付（盛岡北部行政事務組合派遣）	小野寺　清　美
		課付（盛岡北部行政事務組合派遣）	**松　尾　　亮**
		課付（盛岡北部行政事務組合派遣）	**小山田　美恵子**
		課付（盛岡北部行政事務組合派遣）	遠　藤　祐　一
		課付（盛岡北部行政事務組合派遣）	遠　藤　園　子
		課付（盛岡北部行政事務組合派遣）	佐々木　靖　人
産業建設部	部長		伊　藤　繁　夫
	農林課	課長兼防災ダム管理所長兼家畜診療所長	**高　橋　末　男**
		課長補佐	**工　藤　武　夫**
		副主幹	**佐々木　寿　美**
		農政係長	**高　橋　　浩**
		主任	**松　尾　　茂**
		主事	**松　尾　智　幸**
		主事補（新採用）	**中軽米　広　和**
		農林係長	**関　本　英　好**
		主事	**清　川　智　紀**
		主事	**畠　山　　耕**
		畜産係長	**田　村　春　彦**
		主任技師	**橋　本　光　幸**
	農業振興対策監		畑　山　勝　美
		農業振興対策監補佐	**工　藤　賢　一**
		主任	**佐々木　　仁**
	防災ダム管理所	所長補佐兼管理係長	立　花　幸　夫
	家畜診療所	副所長兼業務係長	関　　和　弘
	花き研究開発センター	所長兼地域資源利活用施設所長	日　影　孝　志
		副所長	横　山　　温
		主任技師	遠　藤　　満
		主任技師	高　橋　　亮
	商工観光課	課長兼安代漆工技術研究センター所長兼安比塗漆器工房所長	**高　橋　一　夫**
		課長補佐兼安代漆工技術研究センター所長補佐兼安比塗漆器工房所長補佐	**松　浦　淳　二**
		商工労政係長	**高　橋　賢　悦**
		主事	伊　東　光　広
		主事補（新採用）	**工　藤　　瞳**
		企業立地係長	高　橋　政　典
		副主幹兼観光振興係長	中軽米　昭　彦
		主事	佐　藤　　光
		主事	遠　藤　光　志
		課長補佐（八幡平市観光協会派遣）	**工　藤　　正**
		主事（八幡平市観光協会派遣）	伊　藤　孝　治
	企業誘致対策監		**田　村　　勇**

➡13ページへ続きます

●市職員の人事配置を紹介します

[**太字**は異動者・新採用、色字は昇任]

10ページからの続き

	所属課など	職　名	氏　名
産業建設部	安代漆工技術研究センター	業務係長	冨士原　文　隆
	安比塗漆器工房	業務係長	畠　山　　忠
	建設課	課長	**畑　　孝　夫**
		課長補佐（岩手県から派遣）	**富　岡　治　安**
		課長補佐兼土木係長	**佐　藤　泰　平**
		主任技師	小　林　　慎
		技師	高　橋　和　幸
		技師	**羽　沢　　貴**
		建築係長	**畑　山　直　己**
		技師	**竹　田　直　也**
		技師	高　橋　伸　也
		都市計画係主事	伊　藤　　篤
		副主幹兼管理係長	**遠　藤　　等**
		主任技師	**藤　村　弘　美**
		主事補	**高　橋　稔　耶**
		自動車運転手兼作業員	遠　藤　公　治
		自動車運転手兼作業員	田　村　貴　史
		課付（岩手県へ派遣）	**遠　藤　明　広**
上下水道部	部長		工　藤　昭　二
	上水道課	課長	工　藤　定　男
		課長補佐兼総務経営係長	**工　藤　義　昭**
		主事	工　藤　裕　志
		主事	**佐　藤　　新**
		主事	**松　尾　竜　也**
		主事	伊　藤　久　子
		工務係長	菅　原　浩　人
		主任技師	工　藤　　剛
		主任工手	遠　藤　幸　雄
		主任工手	高　橋　徹　雄
		主任工手	遠　藤　浩　二
		工手	**上　野　英　樹**
	下水道課	課長	米　田　光　政
		課長補佐兼管理係長	**佐　藤　友　一**
		主事	滝　沢　麻　紀
		主事	佐々木　久　禎
		工務係長	森　　政　彦
		技師	**立　柳　　明**
		技師	佐々木　　誠
		主事	伊　藤　徹　哉
		主事	中軽米　佳　子
		技師	遠　藤　芳　彦
病院・診療所	西根病院	病院長	嶋　　信
		副院長（新採用）	**三　浦　義　明**
		副院長兼内科長	加　藤　隆　幸
		外科長	滝　山　郁　雄
		事務局長	**浦　田　信　悦**
		事務局長補佐兼庶務係長	畠　山　弘　明
		庶務係主事	遠　藤　真知子
		医事係長	遠　藤　俊　彦
		薬剤師	中軽米　　宰
		薬剤師	長　根　　聖
		診療放射線技師	工　藤　悦　夫
		診療放射線技師	工　藤　貴　洋
		主任臨床検査技師	佐　藤　麻里子
		臨床検査技師	坂　本　杏　子
		理学療法士	吉　田　　恭
		栄養士	中　村　富美恵
		看護師長	塚　　富貴恵
		副看護師長	小野寺　美津子

	所属課など	職　名	氏　名
病院・診療所	西根病院	副看護師長	吉　田　枝美子
		看護主任	伊　藤　秀　子
		看護主任	佐々木　美　幸
		看護副主任	畑　山　るみ子
		看護副主任	高　橋　玲　子
		看護副主任	高　橋　美津江
		看護師	舘　柳　恵美子
		看護師	高　橋　由美子
		看護師	田　村　美智代
		看護師	桜　井　友　子
		看護師	工　藤　恵美子
		看護師	留　場　尚　子
		看護師	宮　野　　薫
		看護師	本　堂　由賀子
		看護師	高　橋　美　香
		看護師	渡　辺　みゆき
		看護師	高　橋　晃　子
		看護師	高　橋　ひとみ
		看護師	古　川　亜寿香
		看護師	佐々木　里　美
		看護師（新採用）	**工　藤　八千代**
	安代診療所	診療所長	和　田　　進
		事務長兼田山診療所事務長	関　　敏　博
		事務係長兼田山診療所事務係長	佐　藤　令　子
		看護師長	津　島　綾　子
		准看護師	三　浦　百合子
		准看護師	田　中　美　香
	田山診療所	診療所長	藤　沢　　勲
		看護主任	高　村　恵　子
		准看護師	佐　藤　慶　子
		准看護師	森　　和　江
会計課	会計管理者		**伊　藤　文　明**
	会計課	課長	工　藤　　勲
		審査係長	菅　野　美津子
		主事	遠　藤　由美子
		課長補佐兼出納係長	伊　藤　宏　子
		主任	立　花　　浩
		主事補	高　橋　孝　徳
議会・監査・選管事務局	議会事務局	事務局長	**高　橋　三　夫**
		事務局長補佐	**工　藤　　健**
		庶務係長	津志田　勇　孝
		議事係長	斎　藤　恵美子
	監査委員事務局	事務局長	**畠　山　一　彦**
		書記	**佐々木　智　彦**
	選挙管理委員会事務局	副主幹兼係長	鈴　木　弘　志
農業委員会事務局	農業委員会事務局	事務局長	菊　池　正　男
		事務局長補佐	石羽根　久美子
		農地調整係長	村　上　直　樹
		主事	佐　藤　　学
		農業振興係長	伊　藤　純　子
		主事	高　橋　　亮
教育委員会事務局	教育次長		遠　藤　久　夫
	学校教育課	課長	**八　幡　　博**
		課長補佐	**田　村　昌　治**
		副主幹兼総務係長	武　田　啓　子
		主事補	高　橋　　慶
		学事係長	**目　時　浩　一**
		主任	渡　辺　　修
		主事	佐々木　晴　美

12ページへ続きます

[**太字**は異動者・新採用、色字は昇任]

	所属課など	職　名	氏　名
教育委員会事務局	生涯学習課	課長兼西根地区市民センター所長兼西根地区公民館長兼松尾地区公民館長兼松尾ふれあい伝承館長	**工　藤　竹　松**
		課長補佐兼西根地区市民センター所長補佐兼西根地区公民館長補佐	**高　橋　石　夫**
		副主幹兼生涯学習係長	**伊　藤　時　彦**
		主査兼社会教育主事	金田一　捷　誠
		主事	**大　沢　沙　苗**
		主事	北　口　拓　也
		課長補佐兼体育振興係長	藤　原　一　彦
		主任	立　柳　俊　一
		主事	宮　野　政　智
	安代教育課	課長兼安代地区公民館長兼田山公民館長兼田山スキー場支配人	**伊　藤　重　伸**
		課長補佐兼生涯学習係長兼町史編さん係長	**伊　藤　良　子**
		主事	羽　沢　りち子
		体育振興係長兼社会教育主事	三　浦　剛　喜
		主任兼田山スキー場索道主任	工　藤　輝　樹
	新町幼稚園	園長	**三田村　ノ　エ**
		主任教諭	高　橋　郁　子
	小学校	大更小学校主任用務員	**藤　原　正　雄**
		田頭小学校主任用務員	松　浦　末　男
		平舘小学校用務員	**高　橋　正　広**
		寺田小学校主任用務員	地　舘　茂　美
		安代小学校主任用務員	熊　谷　睦　子
	中学校	西根中学校用務員	小　林　和　博
		西根第一中学校用務員	中　村　健　悦
		安代中学校主任用務員	佐　藤　　智
	学校給食センター	所長	**遠　藤　和　義**
		西根地区学校給食センター業務係長	松　田　順　一
		松尾地区学校給食センター副主幹兼業務係長	高　橋　スミ子
		安代地区学校給食センター業務係長	津　島　佐智幸
		主任調理員	安　保　ト　キ
		主任調理員	荒　川　美津子
		主任調理員	関　　たえ子
		調理員	盛　内　和　子
		調理員	遠　藤　美　佳
	大更公民館	係長兼大更体育館係長	高　橋　益　子
	田頭公民館	主任兼田頭コミュニティセンター主任兼田頭体育館主任	遊　坐　栄　一
	平舘公民館	主事兼平舘体育館主事	田　村　幸　子
	寺田公民館	副主幹兼寺田活性化センター副主幹兼西根歴史民俗資料館副主幹兼寺田柔剣道場副主幹	米　田　登志子
	松尾地区公民館	係長兼松尾歴史民俗資料館係長兼松尾ふれあい文化伝承館係長	高　橋　順　子
		主任自動車運転手兼用務員	工　藤　四次郎
	安代地区公民館	係長	阿　部　春　美
	図書館	館長補佐	田　村　忠　一
	博物館	主事	**東　本　茂　樹**
西根総合支所	地域振興課	課長	**津志田　徳　悦**
		課長補佐	**佐々木　芳　子**
		地域振興係長	小笠原　文　彦
		自動車整備副管理者兼主任自動車運転手兼主任作業員	小野寺　瑞　夫
		主任自動車運転手兼主任作業員	石羽根　　稔
		主任自動車運転手兼主任作業員	工　藤　　信

	所属課など	職　名	氏　名
松尾総合支所	総合支所長		**高　橋　富　男**
	地域振興課	課長兼柏台出張所長	**石羽根　福　武**
		副主幹	**田　村　英　典**
		地域振興係長	**古　川　伸　也**
		主任	**藤　原　重　良**
		主任	**佐　藤　華　央**
		自動車整備副管理者兼主任自動車運転手兼主任作業員	**高　橋　健四郎**
		主任自動車運転手兼作業員	**田　村　幸　三**
		主任自動車運転手兼主任作業員	**中　村　正　利**
		主任自動車運転手兼主任作業員	**松　村　一　夫**
		主任自動車運転手兼作業員	**立　柳　　正**
		自動車運転手兼作業員	**乙　部　一　男**
		自動車運転手兼作業員	**佐々木　　隆**
		自動車運転手兼作業員	**伊　藤　正　幸**
		自動車運転手兼作業員	**元　村　和　明**
		自動車運転手兼作業員	**田　村　　仁**
		自動車運転手兼作業員	**荒　井　　健**
		自動車運転手兼作業員	**門　屋　正　勝**
		副主幹兼市民福祉係長	**工　藤　六女子**
		主任	**高　橋　由　泰**
		主事	**高　橋　陽　子**
		主事補	**畑　　敢**
		産業建設係長	**渋　谷　栄　光**
		主事	**佐々木　和　査**
		主事	**種　市　篤　志**
	柏台出張所	副主幹兼市民係長	遠　藤　武　彦
安代総合支所	総合支所長		**山　本　富　栄**
	地域振興課	課長	**種　市　慶　雄**
		課長補佐	**田　村　　勉**
		課長補佐	**小　林　清　功**
		地域振興係長	**小山田　　巧**
		主任	**斎　藤　美保子**
		主事	**関　　満**
		主事	**斉　藤　清　香**
		自動車整備副管理者兼自動車運転手兼作業員	**畠　山　和　義**
		自動車運転手兼作業員	**安　保　千　博**
		市民福祉係長	**村　上　郁　子**
		主任	**工　藤　拓　子**
		主任	**北　口　美智子**
		主任	**松　村　利　紀**
		産業建設係長兼防災ダム管理所管理主任	**堀　口　武　一**
		主事	**山　本　大　輔**
		主事	**小山田　龍　司**
		主事	**元　木　洋　介**
	田山支所	支所長兼市民係長	工　藤　加寿子
		主任	種　市　芳　子

退職者（3月31日付）

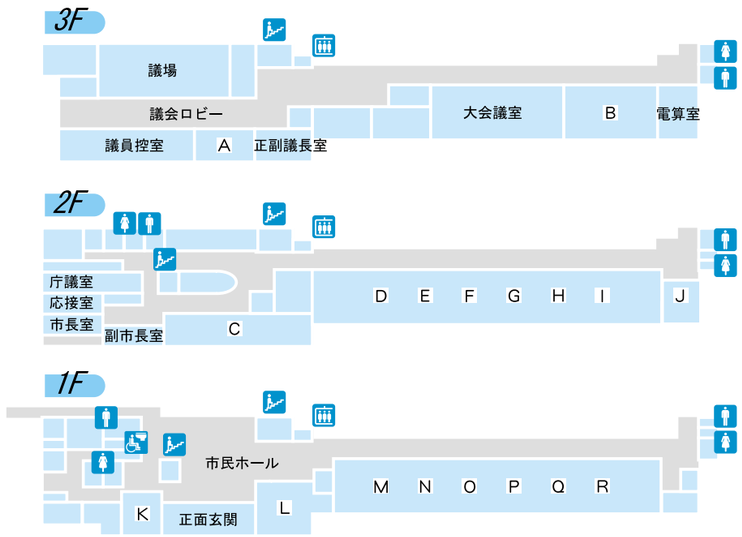
渡　辺　義　光	生活福祉部長兼福祉事務所長
種　市　月　子	生活福祉部少子化対策監兼課長補佐
四　井　昭　子	安代総合支所保健福祉課長兼安代老人憩の家所長
安　保　　宏	安代総合支所建設課長
高　橋　　実	安代教育課長兼安代地区公民館長兼田山公民館長兼田山スキー場支配人
田　村　恵　子	寺田保育所所長
小山田　幸　子	安代総合支所総務民生課課長補佐
駒　田　一　彦	西根地区学校給食センター所長補佐兼業務係長
佐々木　愛　美	企画総務部税務課主事
小山田　あゆみ	柏台保育所保育士
吉　田　弘　毅	松尾総合支所総務民生課主任自動車運転手兼主任作業員
沢　口　勘　一	清掃センター主任作業員

本庁・総合支所の配置が変わります

市は、４月から組織の機能を本庁に集約して指揮系統の明確化を図り、効率的に事務事業行いながらより良い行政サービスを提供するために行政組織・機構の見直しを行いました。ここでは、本庁、西根・松尾・安代総合支所の課などの配置を紹介します。

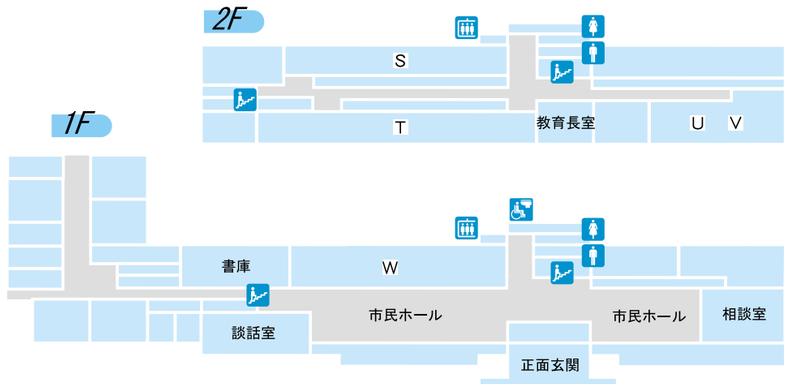
八幡平市本庁 西根総合支所

３　階	
A	議会事務局
B	建　設　課
２　階	
C	総　務　課
D	総合政策課
E	財　政　課
F	税　務　課
G	収　納　課
H	商工観光課
I	農　林　課
J	農業委員会事務局
１　階	
K	監査委員事務局
L	会　計　課
M	地域振興課
N	市　民　課
O	保　健　課
P	地域福祉課
Q	児童福祉課
R	長寿社会課



松尾総合支所

２　階	
S	下 水 道 課
T	上 水 道 課
U	学校教育課
V	生涯学習課
１　階	
W	地域振興課



安代総合支所

１　階	
X	地域振興課
Y	安代教育課

安代地区の行政区再編

4月1日から29行政区に 安比高原は松尾へ一本化

市は４月から、安代地区の行政区を97から29に再編しました。昨年10月１日から住所表記が安比高原となった安比（松尾）、安比（安代）行政区も、名称を安比高原として統合し、松尾地区の管轄となります。

これは、４から51世帯で構成されている安代地区の行政区を統合し、50世帯以上の適正規模に近づけることが目的です。安代地区行政区の平均規模は約20世帯。西根・松尾両地区の平均規模は百世帯を超えています。

市は昨年７月11日、安代地区７つの地区振興協議会の代表者に再編計画を説明。今後の進め方について確認しました。その後、８月にかけて各地区振興協議会で懇談会を開催しました。11月には、再編案について具体的に協議を進め、区割りの調整が行われました。２月には、19年度からの新行政区スタートに向けた体制づくりが進められました。

今回の再編で、西根地区52、松尾地区18、安代地区29の合計99行政区になりました。

新行政区	世帯数	旧行政区
安比高原	61	安比（松尾）、安比（安代）　※松尾地区管轄へ
細野	37	細野
豊畑	51	豊畑
畑１区	109	星沢、黒沢、赤坂田、寄木
畑２区	97	扇畑、松木田、小屋畑
荒屋新町	120	高畑、新町３～５区、新町６区の一部・新町８区の一部
		寺志田、雇用促進住宅（安代）、寺志田アパート
新町中央	126	新町１区、新町２区表・裏、新町６区の一部、新町７区
		新町８区の一部、コーポ橋本
荒屋	97	向久保１～３、新町８区の一部、叺田アパート
秋葉	130	新町１区の一部、清水１～３区、曲田住宅、保土沢
曲田横間	57	曲田、横間
五日市１区	60	有矢野、小柳田１～３区
五日市２区	41	五日市１～４区
五日市３区	53	目名市、戸沢
五日市４区	61	川原１・２区、日影、湯の沢、繋沢
浅沢第１	86	中佐井１～４区、岩木、土沢
浅沢第２	68	石神１・２区、岩屋
苗石田	65	苗代沢、姥子石、田中
新興矢神	59	矢神、矢神住宅、新興通り
杉沢	16	杉沢
栗木田	22	栗木田
平長	29	平又、長者前
田山上	74	上川原、上田山、鳥居元
田山下	59	沢口、本町、下田山、下川原
愛の山	37	愛の山１～４区
石名坂	75	石名坂１～３区
折壁	66	折壁１～４区
日瀬通り	60	日泥、切通、瀬ノ沢
舘市	40	戸鎖、佐比内、舘市
兄畑	39	兄畑
兄川	61	上兄川、中兄川、下兄川

安代地区の行政区数

97 ▼ 29

八幡平市

わしの尾の新酒を片手に郷土料理で舌鼓

地元食材を使った郷土料理と地酒を楽しむ「郷土の新酒と食のゆうべ～地産地消２００７～」は3月17日、岩手山焼走り国際交流村で開かれました。

この催しは、市の第三セクター・コスモプラザ西根（社長・田村正彦市長）が開催し、今回で6回目。スローフード運動を通じて、郷土の食文化を再認識し、地域企業と消費者の相互交流を深めることが目的です。

地元食材を使った郷土料理を囲みながら、楽しいひと時を過ごす参加者

テーブルには、ニジマスやヤマブドウ、シイタケ、杜仲茶豚などの市が誇る食材を使った料理がズラリ。参加した約２００人は、わしの尾の新酒を味わいながら、地元食材をふんだんに使った料理に舌鼓を打ちました。

会場には、地産地消屋台料理コーナーが軒を並べ、地元企業などが、自慢の加工品を出品。アトラクションでは、わしの尾の従業員が「酒造りの唄」を披露し、新酒と歌声に酔いしれました。

吟醸酒や無ろ過生原酒などの説明を聞きながら一杯

平高生9人がオーストラリアで国際交流

海外派遣研修に参加する平舘高校の生徒9人は3月6日、田村正彦市長を訪問し、オーストラリアでのホームステイや国際交流での意気込みを伝えました。

同校の海外派遣は、今回で16回目。3月11日から24日までの日程で、1年生5人、2年生4人が参加します。参加者を代表して松村辰巳君が「英会話など今までの学習成果を発揮して、国際的な視野を広げたい」と話しました。

海外派遣研修に参加する平舘高の引率教諭と生徒たち

市赤十字奉仕団が結成し活動をスタート

災害時の活動に備え、炊き出し訓練をする団員たち

明るく住みよい社会を築き上げようと、市赤十字奉仕団は3月11日、市総合福祉センターで結成総会を開きました。

総会では、会長に戸張昇さん（安比高原）を選出。災害救護や保健衛生などの活動方針について確認しました。

続いて、災害時の炊き出し訓練を実施。一人分の米を小分けした袋に詰め、大鍋で炊き、心も体も温まるとん汁も出来上がりました。この後、ＡＥＤ講習も行われています。

西根

ひ孫らに囲まれ滝川ヨネさん笑顔で百歳

むらさき苑に入所する滝川ヨネさんは、3月8日に百歳を迎え、10日には百歳を祝う会が行われました。祝う会には、ヨネさんの家族と入所者などが参加。バースデーケーキのろうそくの火をひ孫と吹き消し、長寿を祝いました。

ヨネさんは、明治40年に岩手町で誕生。16歳で故・仁太郎さんと結婚し、4男3女をもうけました。現在は、たくさんの孫、ひ孫に囲まれ、いつも笑顔で過ごしています。

ひ孫に囲まれ100歳の誕生日を喜ぶ滝川ヨネさん（中央）

園児が琴の音を奏で父母など拍手喝さい

園児は琴で「さくら」を演奏し、父母らを楽しませました

ひなぎく幼稚園はひな祭りの3月3日、学習発表会を開きました。

発表会には、子どもたちの成長した姿を楽しみにした父母らが出席。園児たちは、この日のために練習した合唱や合奏を、元気いっぱいに披露しました。年長組の女の子は琴の演奏に挑戦。ひな人形のような女の子10人は、しとやかな指の動きで「さくら」を奏で、父母から盛んに拍手が送られました。

西根中が統合40周年と体育館の完成祝う

西根中学校統合40周年と体育館新築落成を祝う記念式典は3月24日、同校体育館で開かれました。

式典には、全校生徒、ＰＴＡ、市関係者など６００人が出席。堀籠富男校長は「40周年と新体育館完成に立ち会えた機会を喜びとし、新しい体育館で一層勉強とスポーツに励み、21世紀を担う人材に育ってほしい」と在校生に話しました。

在校生を代表して生徒会長の中林蓮君が「旧体育館のたくさんの思い出を忘れずに、新体育館を活用して西根中のさらなる発展につなげたい」と誓いました。

体育館の延べ床面積は１４１６平方メートル、事業費は3億８５００万円。3月14日には、新体育館で卒業証書授与式が行われました。これまで８６８５人が同校を巣立っています。

⬆生徒たちは全校合唱で統合40周年と新体育館の完成を祝いました

式典には全校生徒やPTA、歴代➡校長、関係者など600人が出席

松尾

木目が彩る松尾中学校の新体育館が完成

老朽化のため改築工事が行われていた松尾中学校の体育館は完成し、3月2日に新体育館開きの会が開かれました。

体育館開きの会には、全校生徒、PTA、市関係者など250人が出席しました。田村正彦市長が「新しい体育館を活用し、勉強にスポーツに励み、市を支える人材に育ってほしい」と激励。生徒会長の志羅山祐太郎君が「立派な体育館を大切に、末永く活用したい」とお礼を述べました。同校のバレーボール部員が男女対抗戦を披露。伝統の合唱で体育館の完成を祝いました。

新体育館は、鉄骨平屋12 96平方㍍で、事業費は3億6900万円。体育館内部は、校舎と同様に木材を使った温かみのある木目が特徴です。昭和27年に建てられた旧体育館は、文部省建築モデルスクールに指定された同校のシンボル。全国から視察が大勢訪れた体育館は、昨年7月に解体されました。

新体育館はバレーボールコート2面分の広さ。こけら落としは同校の男女対抗戦

新体育館で合唱を披露しハーモニーを響かせました

特産のホロホロ鳥と八幡平ワインで乾杯

市の第三セクター・松尾ふるさと振興公社が主催する「ホロホロ鳥と八幡平ワインの夕べ」は3月23日、なかやま荘で行われました。

この催しは今回で6回目。松尾地区の特産品・ホロホロ鳥とニジマスを生かした料理とワインを楽しむグルメ企画です。参加者は、ホロホロ鳥のしゃぶしゃぶや、ニジマスを使った押しずし「清流寿し」など14種類の料理を味わいながら、ワインに酔いしれました。

松尾地区の特産品・ホロホロ鳥とニジマスの料理がズラリ

地元食材の活用の幅広げる加工品を開発

地元食材を使い、市の特産加工品の開発を進める八幡平市ふるさと研究会は3月10日、市総合福祉センターで加工品研究会を開きました。

今回のテーマ食材は、ヤマブドウと雑穀。生産量日本一のヤマブドウの食材としての可能性を広げようと42品を展示しました。参加者約30人は、加工品の色や形を確かめながら一つ一つ試食。評価シートに、意見や感想を書き込み、今後の商品開発につなげます。

地元食材を活用した加工品42品が並べられました

安代

安代小学校は3月9日、出前すし講座を開き、卒業を控えた6年生が、すし職人の仕事を通して、職業について理解を深めました。

講師は、五日市出身で盛岡市ですし懐石・重兵衛を営む伊藤重治さん。児童たちは伊藤さんにコツを教えてもらいながら、かっぱ巻きや納豆巻き、にぎりずしに挑戦しました。児童は小学校6年間の思い出を込め、出来上がったすしを全員で味わいました。

6年間の思い出ずし卒業生全員で味わう

すし職人の伊藤さんにすしのにぎり方を学ぶ児童たち

安比高原舞台に小学生スキー日本一決定

小学生のスキー日本一を決める第1回全国小学生アルペン大会は3月26日から4日間、安比高原スキー場を舞台に開かれました。

この大会は全国規模で初めて行われる小学生のスキー大会。10県から4年生以上の選手約300人が出場しました。開会式では、矢巾・東小の沢田優士郎君が「全力で最後まで滑りきります」と選手宣誓。選手たちは初代王者を狙い、ゴールを目指しました。

開会式で選手宣誓をする矢巾・東小の沢田優士郎君

澄みきった空気の中で歩くスキーを満喫

2007ラングラウフチャレンジinAPPIは3月18日、安比高原まきば特設コースで行われました。

ラングラウフは、ドイツ語で歩くスキーのこと。スキーの初心者から上級者まで、景色を楽しみながら自分のペースで歩く、冬季の生涯スポーツとして親しまれています。

当日は、県内外から350人が参加しました。開会式で、安代小3年の佐藤梨花さん、佐藤奈未希さん、山本希歩さんが「野うさぎのように元気に駆け巡ります」と選手宣誓。

選手たちは、号砲とともに自分の体力や体調に合わせて3、5、10、15キロの林間コースへ出発しました。子どもと一緒にゆっくり歩く家族連れや、全力でタイムを狙う選手たちは、声援を受けながら、新雪が積もる野山を楽しみました。

⬆自分の体力などに合わせてコースを選び、景色を楽しみながらゆっくりとスキーを楽しむ参加者

⬅やったーゴールだ。バンザーイ

17の学びやを巣立つ卒業生 翼を広げて未来へ羽ばたく

市内の小中学校17校で卒業証書授与式を挙行

卒業生を代表して答辞を述べる吉田大祐君（西根第一中）

一人一人に卒業証書が手渡され（手前）、感謝の気持ちを込めて父母に卒業証書を手渡す（奥）松野小の卒業生

市内小中学校17校の卒業証書授与式は3月14日から20日まで、それぞれ行われました。

西根地区の西根第一中学校は3月14日に卒業式を挙行。佐々木裕校長が48人の卒業生一人一人に卒業証書を授与しました。田村正彦市長は、母校の後輩たちに「皆さんは3年間で素晴らしい成長を遂げた。将来、市を担う人材として、自分が選んだ道でしっかりとした土台を築いてほしい」と激励しました。

松尾地区の松野小学校は3月20日に挙行。卒業生28人に、卒業証書が手渡されました。加藤常明校長は「常に感謝の気持ちを忘れずに、人を大切にする優しさをしっかりと持って、元気いっぱい希望に向かって中学校生活を送ってほしい」と卒業生を励ましました。別れの言葉では、卒業生と在校生が、それぞれ思い出と感謝の気持ちを発表。卒業生は「街は光の中に」を合唱し、思い出の学びやに別れを告げました。

安代地区の田山小学校は3月16日に挙行。菅原由子校長が卒業生に「おめでとう」と声を掛けながら卒業証書を手渡しました。11人の卒業生と在校生が思い出と決意を語り合う「旅立ちの言葉」では、在校生が卒業生一人一人の名前を呼びながら、感謝の言葉を発表。卒業生は、それぞれの夢や希望を歌声に乗せて「トゥモロー」を合唱しました。

目標達成を誓い「トゥモロー」を合唱する田山小の卒業生

みんなの作品 ～安代小～

※学年は３月現在

4年 関　裕介（せき ゆうすけ）くん

版画「投球練習」

2年 遠藤（えんどう）　初音（はつね）さん

工作　「りんご」

6年 高村（たかむら）　明花（はるか）さん

卒業制作「クロスラック」

ZOOM UP 人

「シャッターを切る瞬間に写真家としての資質が出る」。第24回技能グランプリ写真職種（3月2日）で全国の頂点に立った八幡さんは、写真に対する情熱を語った。「写真は準備が9割、テクニックは1割」と言い切る。被写体と会話を弾ませ、その人の一番いい表情を引き出すのが信条だ。「お客さんからたくさんの感動をもらっている。自分の力を惜しみなく注ぎ込まないとね。うちの撮影は時間がかかるけど、儲（もう）けはないよ」と笑った。八幡さんは写真に『気品』を求める。技能グランプリでも60代男性の男らしさの中にある優しさを写し出した。光と影を巧みに操り、一枚の写真に命を吹き込む。「被写体の瞳に光が入ると写真に力強さが増す。『目力』は大切だよ」と教えてくれた。向上心を燃やす八幡さんは「次は、富士営業写真コンテストで金賞を取りたい」と、国内で最も栄誉ある賞にピントを合わせた。

八幡　冨士男さん

●やはた・ふじお　八光スタジオ代表。平舘高校を卒業後、八戸で７年、群馬で２年間、写真の修行を積む。父・幸一郎さん亡き後、父が開いた「不二写真館」を継ぐ形で「八光スタジオ」を27歳の時に開設した。現在は、本店と盛岡店を往復する毎日。国内で最も栄誉ある富士営業写真コンテストで銀賞、銅賞を獲得するなど入賞歴は多数。子どもとブライダル写真の撮影は特に評価が高い。妻、娘、母の４人家族。58歳。血液型O型。安代地区清水。

広報クイズ　No.19　４月５日号の問題

安代地区浅沢に完成した、地域文化を伝承する建物は

正解者の中から抽選で３人に500円分の図書カードをお贈りしますので、どしどしご応募ください。

◎応募方法　はがき、ファクス、メール（パソコン、携帯電話）に「答え、住所、氏名、年齢」を書いて応募してください。また、答えのほかに、広報の感想や意見などを書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。

◎応募期限　４月27日㈮　消印有効

◎応募先　八幡平市役所「広報クイズ係」

☆はがき　〒028-7192（住所不要）　☆ファクス　75-0469

☆メール　somuka@city.hachimantai.lg.jp

＊メールのタイトルに必ず「広報クイズ」と入力してください。

◎第18回の正解　「150㍍」　◎応募者数　18人　◎正解者数　18人

◎当選者　渡辺幸さん（大更）、高橋春奈さん（平笠）、荒川安子さん（野駄）

MUSEUM　博物館　☎63-1122　FAX63-1123

博物館だより

博物館イベントガイド2007

本年度もさまざまな企画を実施

昨年度は、皆さんのご協力をいただき、さまざまな企画を実施しました。入館者も前年度を上回り、大きな励みとなりました。

本年度も企画展やセミナーのほかに、八幡平の自然を生かした植物観察会・化石観察会などを計画していますのでご期待ください。

【企画展】　秋季企画展として、「八幡平市の文化財とその周辺(仮)」を実施します。市指定の文化財をはじめとして、八幡平の自然と歴史を知る格好の資料を展示します。この企画は博物館を皮切りに、西根地区、松尾地区でも巡回展示をしますので、お近くの会場でご覧ください。他にも、季節展示として和紙人形展やひな人形展なども検討しています。

【講座・講演】　昨年に引き続き、「博物館自然・歴史セミナー」を実施しますが、八幡平の自然をテーマにしたものや、実際的な民俗・歴史資料の取り扱いなどの内容を検討しています。

【鹿角街道散策会】

昨年度の鹿角街道散策会(10月)

市外からも参加者が多く、毎年好評なこの企画は、本年度も春から秋にかけて2、3回実施します。老若男女問わず、親子で気軽に参加してください。

【自然観察会】　八幡平周辺に植生する草花や化石を採取・観察して、郷土の自然に対する理解を深めます。自然を満喫してください。

今回は、主なものを紹介しましたが、他にもさまざまな企画を準備しています。詳しくは、博物館まで問い合わせください。

LIBRARY　図書館　☎75-1700　FAX75-1701

図書館だより

新しく図書館が変わります

開館時間延長などさらに便利に

市立図書館では、本年度から利用について次のようになります。さらに利用しやすくなった図書館をどうぞご利用ください。

■開館時間　午前9時～午後7時(日曜日、祝日や振替休日は午後5時まで)
■休館日　毎月初日、毎週火曜日、年末年始(12月28日～1月4日)、館内整理日(3月3～11日)
■貸出冊数　1人5冊まで

■■■ 行事・休館日のお知らせ ■■■

▶おはなしのじかん(絵本の読み聞かせなど)　4月14日(土)、28日(土)　午後3時～
▶短歌を楽しむ会①　4月7日(土)　午後1時～
▶4月のテーマ展　「新着図書のご紹介」
▶子ども図書館まつり　5月12日(土)　午後1時半～
▶休館日　4月10日(火)、17日(火)、24日(火)
　5月1日(火)、8日(火)、15日(火)

平成18年度　(集計期間：18年3月～19年2月)

たくさん読まれた本・ランキング

【一般書】
①キッパリ！／上大岡トメ
②容疑者Xの献身／東野圭吾
③博士の愛した数式／小川洋子
　風の盆幻想／内田康夫
⑤東京タワー／江國香織
　悪魔の種子／内田康夫
　ガール／奥田英朗
　かもめ食堂／群ようこ
　東京タワー／リリー・フランキー

【児童書・絵本】
①おとがいっぱいのりものずかん／小賀野実
②かいけつゾロリの大どろぼう・かいけつゾロリのなぞのおたから大さくせん／原ゆたか
④かいけつゾロリたべられる!!／原ゆたか
　となりのトトロ／宮崎駿
　バムとケロのおかいもの／島田ゆか

第49回こどもの読書週間
＜標語＞
いっしょに、読もうか

各地区公民館の
行事案内板

詳しくは、各公民館へ問い合わせください。

□大更公民館　☎76-4069

▶4月8日(日)、22日(日)、5月13日(日)　書道教室(午前9時半～正午)※毎月第2、第4日曜日開催
▶4月18日(水)、5月17日(木)　子ども映画会(午後2時15分～3時、東大更児童館)
▶4月19日(木)、5月16日(水)　子ども映画会(午後3時～3時45分、大更保育所)
▶4月21日(土)、5月19日(土)　姿勢をよくするウオーキング講座(午前9時半～11時半)※毎月第3土曜日開催

□田頭公民館　☎76-2521

▶4月20日(金)　自治公民館連絡協議会総会(午後6時～10時)

□平舘公民館　☎74-2040

▶4月17日(火)、5月15日(火)　学童映画会(午後4時～、平舘学童保育クラブ)
▶4月19日(木)、5月17日(木)　子ども映画会(午前9時45分～、平舘保育所)

□寺田公民館　☎77-2024

▶4月12日(木)、26日(木)、5月10日(木)　オカリナ教室(午前10時～正午)

畑公民館　☎72-5357

本場中国の味・手づくり料理教室開催

畑公民館では3月7日、手づくり中華料理教室を開催しました。地区に在住する中国出身の方を講師に招き、18人の参加者が指導を受けながらギョーザや肉まん、スープ作りに挑戦。ギョーザ作りでは、皮作りと具を詰めるのに苦労しながら、参加者は完成させた料理に舌鼓を打ちました。

指導を受けながらギョーザ作りに挑戦する参加者

4月から変わります

公民館の利用について

4月から市内の公民館などの利用については、次のとおりになります。詳しくは、市教育委員会生涯学習課(☎74-2111)または市内各公民館まで。

【公民館などを利用するには】
利用しようとする日の前日までに公民館使用許可申請書を各公民館に提出してください。

【公民館などの使用料は】
使用許可のあった日から30日以内に納入してください。使用料については、各公民館にお問い合わせください。

【使用料の減免を受けるには】
市教育委員会に公民館使用料減免申請書を利用申請の際に、許可申請書と一緒に提出してください。使用料の減免対象となるのは次のとおりです。
▶市または市教育委員会が主催、共催する事業(教室、大会など)
▶障害がある人やその介護を行う人が使用するとき。
▶市内小中学校が行う教育課程内活動および課外活動または市内の子ども会が主催する事業で、①指導者などが常時指導し、②午前9時～午後7時(平日以外は午前9時～午後1時)に使用するとき
▶市内の自治会、自治公民館および地域振興協議会などが行う事業活動
▶社会教育団体に登録(年度初めに必ず登録申込書を市教育委員会に提出してください)している市内の芸術文化団体などが主催して行う事業
▶市外の団体(国、県など)が主催する芸術文化事業

おらほの子どもたち⑩

―「いわてが誇る教育振興運動」―

市は、1月26日に八幡平市教育振興運動推進協議会(工藤嘉八会長)を設立しました。今後は、旧3町村の良さを継承しつつ、新たな運動を推進していきます。

教育振興運動は、地域一人一人が、運動目標の「子どもたちにより多くの宝ものを」という一本の糸でつながっている組織です。急激な社会の変化は、大人の変化を生み、それに子どもが敏感に反応し、現在の子どもの実態を生み出しているともいわれています。

この運動は、「子どもたちのため」と同時に「大人のため」にも大切な運動です。基本原則「しめそう・かたろう・ほめよう」は、まさにそのことであり、市推進協議会では、本年度以降も皆さんに運動や活動の様子を紹介していきます。

西根第一中学校卒業証書授与式
（３月14日、西根第一中学校体育館）

田山小学校卒業証書授与式
（３月16日、田山小学校体育館）

松野小学校卒業証書授与式
（３月20日、松野小学校体育館）

ごみの収集日程が変更に クリーン作戦にも協力を

ごみ収集日変更　４月からほとんどの地区で、ごみの収集日程が変わりました。市が配布した「分別収集日程表」を確認して、集積所にごみを出してください。また、市が配布する「ごみの分け方・出し方」は、19年度から２年間使用してもらいます(20年度は配布しません)ので、注意してください。

クリーン作戦　市民が協力をしながら、道路やその周辺を清掃する八幡平市クリーン作戦を次のとおり行います。春の観光シーズンを前に、きれいな八幡平市をつくるため、ご協力をお願いします。

■日時　４月22日(日)　午前５時半

詳しくは、市生活福祉部市民課(☎76-2111)まで。

固定資産税課税台帳など閲覧・縦覧を実施します

19年度の固定資産税の基礎となる固定資産税課税台帳の閲覧と、土地家屋価格などの縦覧帳簿の縦覧を次のとおり行います。

■期間　５月31日(木)まで

■時間　午前８時半から午後５時まで(土・日・祝日を除く)

■場所　市企画総務部税務課、松尾、安代両総合支所の地域振興課

■閲覧・縦覧できる人　【閲覧】固定資産所有者と代理人(委任状が必要)【縦覧】固定資産納税者

詳しくは、市企画総務部税務課(☎76-2111)まで。

愛犬家へのお願い マナーの再確認を

愛犬を散歩するときはリードを付け、飼い主が管理できる状態にしてください。愛犬が他人や物に損害を与えると飼い主に責任が発生します。また、犬の糞(ふん)の苦情が多く寄せられます。散歩には、ビニール袋を持ち歩き、小さなスコップなどで糞を処理しましょう。

市内での迷い犬(野犬を含む)は、昨年30件を超えています。一部の犬は、保健所で処分されました。もし、犬がいなくなったときは、市役所へ連絡してください。

詳しくは、市生活福祉部市民課(☎76-2111)まで。

技能検定・33職種の受検者を募集します

県では、19年度前期技能検定受検者を次のとおり募集しています。

技能検定制度は、働く人々が有する技能を一定の基準で検定し、証明する国家検定制度です。検定には特級、１、２、３級、単一等級の区分があり、今回33職種について行われます。

■試験日　６月11日(月)から９月16日(日)までの間、各職種ごとに学科・実技試験が行われます。

■申込期限　４月13日(金)

検定職種など詳しくは、岩手県職業能力開発協会(☎019-654-5427)まで。

４月の検診日程のお知らせ

19年度の各種検診が次の日程で行われます。検診の会場は行政区ごとに指定されていますが、都合に合わせて別会場で受診することもできます。

【西根・松尾地区】　胃がん・大腸がん検診　　[問] 市生活福祉部保健課　☎76-2111

検診日	検診場所	検診日	検診場所
４月９日(月)	西根地区市民センター	４月19日(木)	荒木田地区集落センター
４月10日(火)	大更公民館、山後公民館		松久保公民館
４月11日(水)	田頭公民館、五百森公民館	４月20日(金)	平舘公民館、下平笠公民館
４月12日(木)	田頭公民館	４月22日(日)	松尾保健センター
４月13日(金)	寺田公民館	４月23日(月)	新田生活改善センター
４月14日(土)	山子沢公民館、両沼公民館	４月24日(火)	柏台地区センター
４月15日(日)	西根地区市民センター	４月25日(水)	中松尾集落センター
４月16日(月)	松川公民館、上平笠公民館	４月26日(木)	南寄木集落センター
４月17日(火)	平舘公民館	４月27日(金)	松尾保健センター
４月18日(水)	渋川小学校、大更公民館	【受付時間】	午前６時半から９時まで

【安代地区】　乳がん・子宮がん検診　　[問] 市生活福祉部保健課　☎76-2111

検診日	検診場所	受付時間
４月24日(火)	田山公民館	【午前】　午前９時から10時まで 【午後】　午後０時半から１時半まで
４月26日(木)	安代地区体育館	
４月27日(金)	安代地区体育館	

お知らせ Information

詳しくは各部、各機関にお問い合せを
●八幡平市役所　76-2111
●松尾総合支所　74-2111
●安代総合支所　72-2111
ホームページアドレス
http://www.city.hachimantai.lg.jp

安代小学校出前すし講座
（３月９日、安代小学校）

コスモスの花の種プレゼント
（３月14日、柏台保育所）

通学定期券購入費の補助申請を受け付け

市は、子育て支援策として、通学定期券購入費の一部を補助します。

■対象となる交通機関　鉄道および路線バス

■補助対象者　市内に住所があり、現在市内に居住している通学定期券を利用する小学生、中学生、高校生の保護者

■補助金の額　通学定期券購入費の５分の１の額(10円未満切り捨て)

■補助金の申請　市の担当窓口(西根・松尾・安代総合支所の地域振興課)と、大更駅で申請書を交付しています。通学定期券を購入する時、利用期限の切れた定期券を定期販売窓口に提示し、申請書に購入証明を受け、市の担当窓口に提出してください。

■申請受け付け、補助金の支払い

①４月１日から９月末日まで利用分の定期券の申請は、10月10日まで受け付けます。

②10月１日から３月末日まで利用分の定期券の申請は、４月10日まで受け付けます。

※①で申請した補助金の支払いは10月末ごろ、②で申請した補助金の支払いは４月末ごろになります。

■問い合わせ・申込先

- 西根総合支所地域振興課 ☎76-2111
- 松尾総合支所地域振興課 ☎74-2111
- 安代総合支所地域振興課 ☎72-2111

市民の生命・財産を守る市消防団員を募集します

市消防団では、消防団員を次のとおり募集しています。

消防団は、火災、地震、風水害などの際、市民の生命や財産を守る大切な役割を担っています。

■入団資格　市内に居住または勤務する、満18歳以上の人

■入団後の待遇　非常勤特別職の地方公務員として、年間一定額の報酬や、災害や火事、訓練などに出動した場合に手当が支給されます。消防団活動中、負傷に遭った場合の補償制度があります。必要な制服などが貸与されます。

■申し込み方法　各地区消防団分団へ申し込みしてください。

詳しくは、市企画総務部総務課(☎76-2111)まで。

乳幼児医療費給付を改正 新たな対象者は手続きを

市は、保護者の前年所得が一定以上の場合に受給できない、乳幼児の医療費給付にかかる所得制限を、４月１日に撤廃しました。

所得制限の撤廃で、新たに受給対象となる乳幼児の保護者は、申請が必要になります。対象者には、郵送で通知しますので、健康保険証、振込先の金融機関・口座番号が分かるもの(通帳など)、印鑑を持って、本庁または各総合支所国保窓口で、手続きをしてください。

詳しくは、市生活福祉部保健課(☎76-2111)まで。

19年度市商店街活性化推進事業補助金を交付

市は、商店街活性化推進のため、次のとおり補助金を交付します。

■対象　市内の商工会員が組織する団体が行う、商店街の活性化に寄与する事業

■補助率　２分の１～３分の１

詳しくは、市産業建設部商工観光課(☎76-2111)まで。

ツール・ド・モリオカの出場者とスタッフを募集

ツール・ド・モリオカ事務局では、同大会(自転車ロードレース)への出場者と、ボランティアスタッフ(会場などの設営、コース係など)を次のとおり募集します。

■開催日　６月16日(土)、17日(日)

■会場　安比高原周辺

■出場申込期限　５月10日(木)

■スタッフ申込期限　５月20日(日)

詳しくは、ツール・ド・モリオカ事務局(☎019-622-3243)まで。

大更郵便局管内の配達委託者を募集

大更郵便局では、同局管内で速達、小包、書留郵便物を配達する配達委託者を次のとおり募集します。

■期間　１年間

■配達時間　午後5時から9時まで

■委託料　入札で決定

■募集人数　１人

■申込期限　４月27日(金)

詳しくは、大更郵便局(☎76-2010)まで。

情報掲示板

詳しくは、本庁・西根総合支所(☎76-2111)、松尾総合支所(☎74-2111)、安代総合支所(☎72-2111)の各課へ。

市内総合

【本庁・市民課】
▶４月19日㈭　盛岡社会保険事務所の年金等の出張相談(10:00～16:00、市商工会館)
【本庁・保健課】
▶４月10日㈫　ポリオ(受け付け13:00～13:30・安代診療所、受け付け14:00～14:30・西根地区市民センター)
▶４月11日㈬　ポリオ(受け付け13:00～13:30・西根地区市民センター、受け付け15:00～15:30・東八幡平病院)
▶４月12日㈭　ポリオ(受け付け14:00～14:30・西根地区市民センター)
▶４月13日㈮　ポリオ(受け付け13:00～13:30・西根地区市民センター)
▶４月18日㈬　ポリオ(受け付け15:00～15:30・東八幡平病院)
▶４月25日㈬　幼児健康相談・栄養相談(受け付け9:30～10:00・田頭公民館)
▶４月26日㈭　ポリオ(受け付け13:00～13:30・田山診療所)
▶５月11日㈮　親子教室(受け付け9:45～10:00・西根地区市民センター)
【市体育協会　☎70-1600】
▶４月18日㈬、22日㈰、28日㈯、５月16日㈬　トレーニング室利用講習会(18:30～20:30【22日、28日は9:30～11:30】、市総合運動公園体育館)

西根地区

【西根総合支所・地域振興課】
▶４月20日㈮　行政相談(9:00～12:00、西根地区市民センター)
【本庁・市民課】
▶４月17日㈫　犬・猫引き取り(10:30、市役所)
▶４月25日㈬　人権相談(9:00～12:00、西根地区市民センター)
【本庁・保健課】
▶４月17日㈫　１歳児健診(受け付け13:00～13:30、西根地区市民センター)
▶５月１日㈫　乳児健診(受け付け13:15～14:00、西根地区市民センター)
▶５月10日㈭　田頭地区定期健康相談(10:00～11:00、田頭公民館)
▶５月15日㈫　１歳児健診(受け付け13:00～13:30、西根地区市民センター)
▶５月24日㈭　３歳児健診(受け付け9:00～9:30、西根地区市民センター)
▶５月31日㈭　１歳６カ月児健診(受け付け9:00～9:30、西根地区市民センター)

松尾地区

【松尾総合支所・地域振興課】
▶４月９日㈪　行政相談(9:00～12:00、市総合福祉センター)
▶４月11日㈬　人権相談(9:00～12:00、市総合福祉センター)
▶５月９日㈬　行政相談、人権相談(9:00～12:00、柏台出張所)
【本庁・市民課】
▶４月17日㈫　犬・猫引き取り(10:00、松尾総合支所)
【本庁・保健課】
▶４月17日㈫　１歳児健診(受け付け13:00～13:30、西根地区市民センター)
▶５月１日㈫　乳児健診(受け付け13:15～14:00、西根地区市民センター)
▶５月15日㈫　１歳児健診(受け付け13:00～13:30、西根地区市民センター)
▶５月24日㈭　３歳児健診(受け付け9:00～9:30、西根地区市民センター)
▶５月31日㈭　１歳６カ月児健診(受け付け9:00～9:30、西根地区市民センター)

安代地区

【安代総合支所・地域振興課】
▶４月10日㈫　人権相談(9:00～12:00、田山公民館)
▶５月15日㈫　人権相談(9:00～12:00、安代若者センター)
【本庁・市民課】
▶５月８日㈫　犬・猫引き取り(10:30、安代総合支所)
【本庁・保健課】
▶４月18日㈬　乳児健康相談・離乳食講習(受け付け9:30～10:00、安代保健センター)
▶５月25日㈮　１歳６カ月児健診(受け付け12:45～13:00、安代保健センター)、乳児健診・１歳児健診(受け付け13:00～13:20、安代保健センター)
【市体育協会安代支部　☎72-2111】
▶５月13日㈰　第37回安代地区健康マラソン大会兼第18回親子マラソン大会(8:30～、安代若者センター周辺)
▶５月13日㈰　第１回安代地区卓球大会(9:00～、安代若者センター)

人口の動き【２月28日現在(　)は前月比】

地　区	西　根	松　尾	安　代	計	男	女
人　口	18,393 (－８)	6,806 (－11)	5,928 (　０)	31,127 (－19)	15,129 (－７)	15,998 (－12)
世帯数	5,983 (＋５)	2,323 (－３)	2,020 (＋６)	10,326 (＋８)		
出生　13人　死亡　37人　転入　35人　転出　30人						

平成19年市内発生交通事故、飲酒運転検挙者数、火災・救急出動状況

	人 身	物 損	負 傷	死 者	飲酒運転	火 災	救 急
２月	10件	51件	15人	０人	２人	０件	202件
累計	16件	118件	23人	０人	２人	０件	315件

休日当番医	市内(8：30～17：00) ※昼時間を除く	鹿角市(9：00～20：00) ※市外局番は(0186)
４月８日㈰	瓜田外科胃腸科医院 ☎76-3220	福永医院 ☎35-3117
15日㈰	東八幡平病院 ☎78-2511	長橋医院 ☎23-7612
22日㈰	西根病院 ☎76-3111	大湯リハビリ病院 ☎37-3511
29日㈰	伊藤小児科医院 ☎75-1816	本田医院 ☎35-3002
30日㈪	畠山内科クリニック ☎75-2355	鹿角中央病院 ☎23-4131
５月３日㈭	平舘クリニック ☎74-3120	小笠原医院 ☎35-2011
４日㈮	吉田内科呼吸器科医院 ☎70-1100	村木医院 ☎22-2055
５日㈯	森整形外科 ☎76-2318	大湯リハビリ病院 ☎37-3511
６日㈰	瓜田外科胃腸科医院 ☎76-3220	大里病院 ☎22-1251
13日㈰	東八幡平病院 ☎78-2511	本田医院 ☎35-3002
20日㈰	西根病院 ☎76-3111	大里病院 ☎22-1251

小児救急入院受入病院の当番※市外局番は(019)

病　院　名	電話番号	当　番　日
岩手県立中央病院	653-1151	4/6、9、12、15、18、24、27、30、5/3、6、9、13、16、19
岩手医科大学付属病院	651-5111	4/5、8、11、14、17、20、23、26、29、5/2、5、8、11、15、18、20
盛岡赤十字病院	637-3111	4/10、13、16、19、22、25、28、5/1、4、7、10、14、17
もりおかこども病院	662-5656	4/7、21、5/12

＜小児救急病院の選び方＞
◆**平日夜間**　19：00～23：00→盛岡市夜間急患診療所(☎019-654-1080)、上記の時間以外→小児救急入院受入当番病院
◆**日・祝日**　９：00～17：00→休日当番医、19：00～23：00→盛岡市夜間急患診療所、上記の時間以外→小児救急入院受入当番病院

岩手医大・県立中央病院からの出張診療日

◆**国保西根病院(☎76-3111)**　【呼吸器】第１月曜日　【消化器】第２木曜日　【腎臓】第３月曜日　【血液】第３水曜日　【神経】第３木曜日(以上、５科の時間はいずれも午後２時～)　【糖尿病】第２・３・４・５火曜日の午前　【循環器】第２・４水曜日の午前(糖尿病、循環器は要予約)
◆**国保安代診療所(☎72-3115)**　【外科】毎週木曜日の午前
◆**国保田山診療所(☎73-2126)**　【脳神経外科】第１・第３木曜日の午前

よろこびおくやみ

(２月届け出分)

健やかに

高橋　開(ひらき)(男／勝宏／松尾寄木)
土橋彩央菜(さおな)(女／純一／松木田)
工藤　和都(かずと)(男／勝／寺志田)
上山　瑞太(ずいた)(男／孝志／柏台)
工藤　琉翔(りゅうと)(男／輝樹／姥子石)
阿部　颯太(そうた)(男／郁夫／新田)
吉田はるか(女／透／大更)
阿部　麻衣(まい)(女／克利／西根寺田)
三浦　飛空(ひくう)(男／泉／大更)
菊池　陽喜(はるき)(女／恵太／大更)
八幡　祐哉(ゆうや)(男／修／亦戸川原)

お幸せに

遠藤　忠寿　大更
杉崎　友美　盛岡市
工藤　勝彦　大更
寺崎　香織　大更
髙橋　琢磨　大更
工藤　嘉子　大更
上田　雅行　盛岡市
渡辺真希子　大更
三浦　大典　大更
松ノ木理美　雫石町
立柳　敬太　野駄
前沢美由紀　野駄
遠藤　悟　田頭
竹田　友紀　盛岡市
石輪　智　二戸市
田鎖由喜子　叺田

安らかに

坂井　キサ　97歳　大更
遠藤キチエ　83歳　田頭
三田村ノブ　82歳　田頭
小笠原徳四郎　77歳　平舘
渡辺仁太郎　84歳　大更
田村　カヅ　86歳　帷子
髙橋　孝一　77歳　平笠
遠藤　倉藏　88歳　西根寺田
髙橋彌三郎　74歳　大更
藤原ヒフミ　77歳　平舘
田村ハツエ　68歳　平舘
小笠原キサ　58歳　平舘
丹内ミサヲ　89歳　帷子
髙橋　ハル　97歳　松尾寄木
本堂キヌヱ　88歳　荒木田
鈴木　スヱ　91歳　田頭
柳澤仁太郎　83歳　大更
上野　滿夫　83歳　柏台
佐々木サワ　88歳　野駄
髙橋　トミ　71歳　帷子
工藤　ハツ　89歳　田頭
熊谷トミエ　97歳　清水
藤原　フミ　101歳　田頭
佐々木ミヨ　96歳　松尾
松尾孝一郎　93歳　松尾寄木
中村　廣子　63歳　荒木田
中村嘉一郎　75歳　荒木田
畠山與次郎　82歳　大更
仙木　一松　83歳　松尾寄木
北舘　勇三　75歳　小屋畑
齋藤　岩雄　75歳　五日市
前端喜太郎　90歳　大更

掲載は届け出順で届け出人が希望した場合だけ行っています。(敬称略)

ここがお薦め

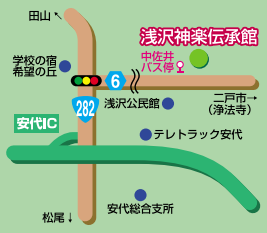
さあ行こう

文化香るふれあいの里 木造の演舞場を備える 浅沢神楽伝承館が完成

市無形民俗文化財の浅沢神楽を地域文化のシンボルとして位置付け、「文化香るふれあいの里」を目指し、地域おこしに取り組もうと「浅沢神楽伝承館」は完成し、３月25日に落成式が行われました。県が中山間地域総合整備事業で県道二戸安代線沿いの浅沢地区に整備。３月６日に市に移管されました。総事業費は１億1352万円で、木造平屋516平方㍍。離れには神楽を披露する演舞場が設けられています。

【浅沢神楽】800年ほど前の鎌倉時代、各地で修行をしていた山伏の一行が、二戸市天台寺近くの飯近集落に居住し、社を建立した。浄法寺城主と領民の安泰、五穀豊穣、悪疫退散を祈願したときに、神楽も奉納されたのが始まりといわれている。演目は「番楽」「鳥舞」「三番叟」「虎の口」「普勝」「権現舞」「あねこ舞」「ホロロ舞」「小僧舞」の９種あり、すべてを演じるには４時間ほどかかる。

●場　所　岩木向77番地（右の地図を参照）



こちら編集室

▽４月は、入学や就職、転勤などにより、新たな旅立ちや出会いが見られる季節です。市役所も組織・機構の再編、定期人事異動により、各部署の顔ぶれが新たになる中、広報担当は全員留年となりました。本年度も見慣れた顔が、取材で皆さんのところに伺いますので、これまで同様よろしくお願いします。（久志）

▽運命の時。人事異動の季節がやってきました。結果は、見事!?に留年。旧松尾村から通算すると、７年目の春を迎えました。義務教育に例えると、留年というよりも、小学校を卒業し、中学校に進学したことになります。一年生の気持ちで頑張りますので、本年度も「広報はちまんたい」をよろしくお願いします。（隆二）

▽春の便りが次々と届く中、いきなりの大雪で真冬に逆戻り。季節の節目にはよくありますが、健康には十分にご注意を。春の人事の便りでは、広報７年生になる大先輩を差し置いて先に卒業するわけにもいかず、あえなく留年決定。来季も取材などで皆さんのところにお邪魔しますので、よろしくお願いします。（真人）

広報／はちまんたい　2007.4
平成19年４月５日発行
（毎月第１、第３木曜日発行）

発行／八幡平市役所　編集／企画総務部総務課　印刷／山口北州印刷株式会社
〒028-7192岩手県八幡平市大更（おおぶけ）35-62　☎0195-76-2111　FAX0195-75-0469
ホームページアドレス　http://www.city.hachimantai.lg.jp/

SOY INK　R100